

宝小学校だより

# ななさと

宝小学校学校だより

NO26

H27年度 最終号

平成28年3月25日(金)

文責 小俣 一夫

## 節目にしよう学年の終わり

## 子どもの成長を家族で語り合おう！

3月25日(金)の終了式をもって、宝小学校の1年間の教育活動が終了いたしました。今年度1年間、大きな事件や事故もなく、児童一人一人が健康で充実した学校生活を送ることができました。保護者や地域の皆様方のご理解とご協力に深く感謝申し上げます。

さて、小学生時代の1年間というのは、体の成長は勿論のこと、それにも増して心がとても大きく成長していく時期でもあります。自分のことさえ満足に考えられなかった子どもたちが、1年間の学校生活をおとして、多くの仲間と関わり、たくさんの経験を積み重ねる中で、自分を大切にできるようになり、さらには友だちのことも考えられるようになっていきます。

おさんはどうでしょうか？1年間の終了を機会に、わが子の成長を家族で語り合ってみてください。

「竹」はしなやかですが、簡単には折れません。それは竹に「節」があるからです。そんなしなやかさを支える節をつくるためにも、1年間の生活を振り返り、自分がどんなふう成長し、これからどんな努力が必要なのかを気づかせることが必要です。節のある、いざというときに折れない心を持った子どもに育てていきましょう。



6年生「感謝の会」の一幕

## 卒業式「28人よ未来に向かって 歩き出せ！」

3月18日(金)に本校の卒業式を行いました。ご来賓の皆様方、保護者の皆様方にはご出席をいただき、誠にありがとうございました。

今年の卒業生はクラスの仲間がいつも一体となり、力を合わせて様々な活動に取り組んでいました。いつも友だちを大切に、お互いに補い合って努力する、協力して創り上げる、本当に友情の厚い学年であったと感じています。特に、印象深いのは運動会での組立体操でした。苦勞して、苦勞して運動会前日にやっと完成したピラミッド、あの時の子どもたちの笑顔とそこにいた全員の感動は今でも鮮明な記憶として私の心に残っています。そんな、28名の6年生が中学校という次のステージに向かって、おっきな夢とちょっとした不安を持って巣立っていきました。

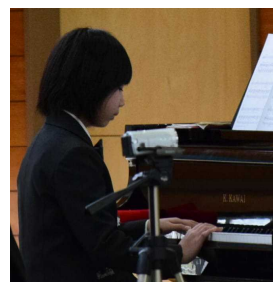


卒業生&保護者 全員集合

また、卒業式ではこんな話をはなむけとして贈りました。

一つ目は、「どんな時でも、自分を好きでいてほしい」ということを話しました。これは、全校に一年間言い続けてきた言葉です。現在、放映されているNHKの連続ドラマ「朝が来た」のテーマソングに「365日の紙飛行機」という歌があります。その歌詞の中に「人生は紙飛行機 願い乗せて飛んでいくのよ 風の中を力の限りただ進むだけ、その距離を競うより どう飛んだか どこを飛んだのか それが一番大切なんだ・・・」という一節があります。

自分を好きになるために、人と競ったり比べたりする必要なんてありません。目標に対して、自分がどんな努力や工夫をしているのか。今、何を頑張っているのかが大切なのです。その結果として、現在の自分は目標にどのくらい近づいているのかということです。これから皆さんは、たくさんの経験を通して自分に対する、自信を着けていくはずで、「自分を好き」ということは、別の言葉で「自尊感情を持つ」ともいいます。この自尊感情とは「自分を大切に思う気持ち」のことです。自尊感情が高い人は、困難に出会っても粘り強く努力できたり、集団にうまく適応できたりするの



ピアニスト麻名さん

です。また、自分のことが好きな人は、同じように友だちにも優しくなれ、人の痛みもわかるのです。成功した時だけでなく、失敗した時の格好悪い、情けない自分も全部ひっくるめて、あなた自身なのです。どんな自分であっても、好きでいて下さい。また、好きになれるよう努力して下さい。そのためには、常に自分に正直でなければなりません。ごまかしでない、頑張る自分であり続けながら、積極的にいろんな事に挑戦して、経験の幅を広げていきましょう。そのことが、あなたという人間をさらに大きく成長させてくれるはずですよ。

二つ目は、毎日の生活の中で皆さんに心がけてほしいことです。それは、「うれしさを表現できる人」になってほしいという話でした。

人に親切にされたら「ありがとう」、おいしいと感じたら「これ、おいしいよ。」、食後にははっきりと「ごちそうさま」、楽しかったら「楽しい」と嬉し

しさや楽しさを言葉や表情でしっかりと表現することを心がけてみて下さい。普段、「ありがとう」とか、「美味しい」というような嬉しい気持ちを素直に表現することはなかなかできないかもしれません。しかし、君たち自身が、そんな気持ちを言葉に出すことによって、まわりの人もきっと嬉しくなるでしょうし、自分自身も表現することで、より敏感に深く嬉しさを感じられるようになると思います。様々なことを感じ取る力のことを「感性」といいます。この感性は、感じたことを意識して表現することにより、さらに豊かになっていきます。真っ赤に染まった夕焼け空を見てきれいだと感じたら、小さな声でいいですから、「きれいだ」とつぶやいてみて下さい。感じたことを自分に向けて表現することで、嬉しさや感動が今まで以上に味わえるようになるはずですよ。ぜひ、心のどこかにとどめて実行してほしいと思います。

地域の皆様・保護者の皆様には、これまで本校の教育活動に温かいご支援とご協力を賜りましたことに心から感謝申し上げます。今後も宝小の応援団として陰に日向に支えて下さい。

### 卒業生の限らない発展と心豊かな成長を期待しています。



証書授与 緊張の巧真さん



ラストの合唱曲「旅立ちの日に」は涙があふれ出て、声がかすれてしまいました！

担任二人 何を思う？

## 上大幡方面からの通学路を変更します。

平成28年4月8日(金)の登下校より児童の安全を考慮し、一部、通学路を変更しますのでご理解とご協力をお願いいたします。

1. 変更場所 下大幡 広教寺～宝小学校間  
広教寺から旧県道を通り（この間、渡辺GS・泉屋商店前を通過）学校前の信号を渡り登下校します

2. 変更場所を通学路とする班

地区名	班	集合場所	地区名	班	集合場所
上大幡	1	千代川橋	上大幡	5	農協前
	2	消防小屋前		4 B	岩崎橋
	3	デイリーストアー	下大幡	2	広教寺
	4	ゴミステーション		3	岩崎橋

※下大幡1班ちびっこ広場、4班宝小前については、今までどおりの通学路となります。

3. 略図



※子どもたちの登下校に対し、今後ともあたたかい見守りをお願いします。